

新
企画

防災科研 topics

この企画では「防災科研topics」として、
防災科研にまつわるさまざまな情報を
掲載してまいります。

防災科研のウェブサイト をリニューアルしました。

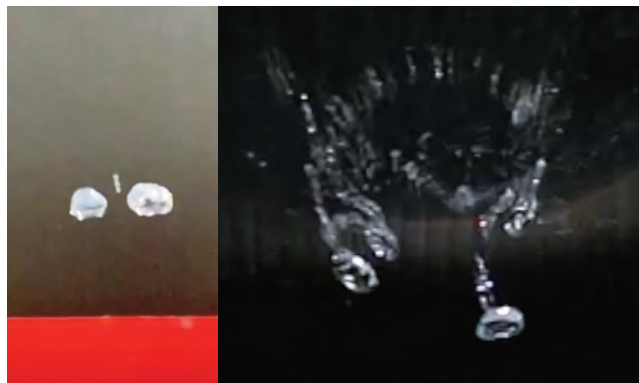
防災科研のウェブサイトを2020年4月にリニューアルしました。新しいウェブサイトは、ユーザーの視点に立ち、平常時や災害時に必要な情報を探しやすく、わかりやすい総合案内ツールとして、また、防災科研の組織情報をわかりやすくお伝えするコーポレートサイトとして、コンテンツと設計を刷新しました。



<https://www.bosai.go.jp/>



pick up



防災科研動画素材集が無料で ダウンロードできます。

防災科研水・土砂防災研究部門ウェブサイトでは、雨粒実験や竜巻実験など、気象に関連する映像を約10秒の動画でご紹介しています。動画はどなたでも自由にダウンロードしてご利用いただけます。学校の授業や市民講座、通信講座などでの講義資料の素材としてなど、ぜひ幅広くご活用ください。



http://mizu.bosai.go.jp/key/niedclip_kisho



Dr.ナダレンジャーの防災科学教室が 防災科研ウェブサイトで配信中。

防災科研ウェブサイトでは、防災教育の一環としてDr.ナダレンジャーの防災科学教室（動画）を公開しています。動画は「液状化実験」「地震の揺れ実験」「なだれ実験」があり、小学校4年生以上を対象に災害の仕組みを科学的に、かつ楽しく理解ができるような実験内容になっています。

教育関係者の皆様におかれましては、防災、災害について子供たちに教える際にご活用いただければ幸いです。詳しくは、右記をご覧ください。



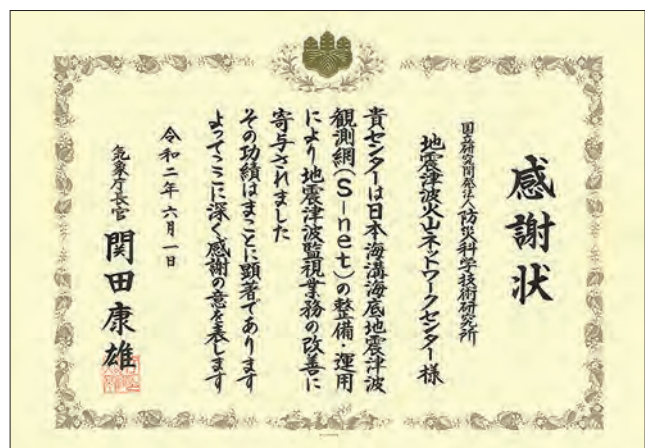
<https://www.bosai.go.jp/introduction/movie.html>



気象庁長官より 感謝状をいただきました。

防災科研地震津波火山ネットワークセンターが、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）の整備・運用により、地震津波監視業務の改善に寄与した功績で、気象庁長官より感謝状をいただきました。

地震津波火山ネットワークセンターは、観測を通じた災害の軽減を目指して、陸域の地震火山観測網および海域の地震津波観測網を全国に整備し運用するとともに、さまざまな研究開発を行っています。



統合レポート2019を公開しました。

このたび防災科研では、研究所の目指す社会の姿、そうした社会を実現するための価値創造プロセス、さらにプロセスにのっとった研究の取り組みや成果について分かりやすくお伝えし、ステークホルダーの皆さまとの連携・理解を賜ることを目指して「防災科研統合レポート 2019」を編集・発行いたしました。こちらは防災科研ウェブサイトよりダウンロードできますので、是非ご一読ください。



<https://www.bosai.go.jp/introduction/report.html>



筑波大学との協働大学院方式による学位プログラム「リスク・レジリエンス工学学位プログラム」開始

防災科研は、2020年4月より、筑波大学と連携して博士の学位プログラム「リスク・レジリエンス工学学位プログラム」を新設しました。

このプログラムは協働大学院方式で、筑波大学と防災科研を含めたレジリエンス研究教育推進コンソーシアムが協働して運営していく大学院です。

本学位プログラムは、「工学的視点から、不測の事態や状況の変化に柔軟に対応し、求められる機能を維持提供し続け、回復する能力」、すなわち、リスクを工学的により分析・評価した結果をレジリエンス社会の実現のために活用できる高度な技術をもち、現実社会の問題を見据えて教育研究成果等を社会還元できる高度専門職業人、また、深い理論的基盤に基づく研究能力と高度な技能・実践力を有するアカデミック

なグローバル人材の養成を目的としています。

防災科研からは、藤原広之（マルチハザードリスク評価研究部門）、臼田裕一郎（防災情報研究部門）、酒井直樹（水・土砂防災研究部門）の3名が教授として参加し、研究指導・授業を行い、専門的・実践的かつ最新の知識や技術の講義を担当することにより、レジリエンス社会のために活躍する人材を育成します。

また、レジリエンス研究教育推進コンソーシアムがJoint Seminar減災と共催した公開シンポジウム「『想定外』を想定できるこれからの人材育成とはー教員・学生・企業の視点からー」では、レジリエンス社会の実現に向けた人材育成について林理事長を始めとした参加者による議論が行われ、レジリエンス研究教育推進コンソーシアムの取り組みを広く発信しました。



公開シンポジウムでの講演の様子



レジリエンス研究教育推進コンソーシアム

企業、研究機関、大学の協働により、2017年12月発足しました。リスク・レジリエンス分野のセミナー、講演会、研究会、シンポジウムなどを開催し、新たな研究領域を探究するとともに、参画機関の知の協働により筑波大学に設置された「リスク・レジリエンス工学学位プログラム」の運営母体となり、アカデミックなグローバル人材を育成する礎となります。

参画機関一覧

セコム株式会社、大日本印刷株式会社、日本電気株式会社、スリーエム ジャパン株式会社
一般財団法人DRIジャパン、一般財団法人電力中央研究所、一般財団法人日本自動車研究所
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所電子航法研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所
国立研究開発法人防災科学技術研究所、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
国家災害防衛科技中心 (National Science and Technology Center for Disaster Reduction) (台湾)
国立大学法人筑波大学

Fifth JDR Award受賞

総合防災情報センターの臼田裕一郎センター長が、Fifth JDR Awardを受賞しました。

今回の受賞は、臼田センター長がゲストエディターを務めた特集号“Special Issue on NIED Frontier Researches on Science and Technology for Disaster Risk Reduction and Resilience 2017”が、直近3年間で最も多くダウンロードされたことが評価

されたものです。

臼田センター長は「防災科研はこれからも分野を超えた研究、そしてその成果の特集を続けていきます。それが多くの方々とのコラボレーションにつながり、知の統合により我が国および世界の防災力向上につながれば幸いです」と語っています。



臼田センター長を囲んでの記念撮影

第32回日本リスク学会年次大会の 大会優秀発表賞を受賞

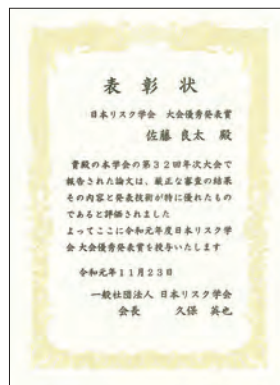
日本リスク学会第32回年次大会で防災情報研究部門（内閣府防災担当 出向中）の佐藤 良太特別研究員が「災害情報の主題図別情報発信の試みとその効果 -防災科研クライシスレスポンスサイト（NIED-CRS）を通じて-」の発表で大会優秀発表賞を受賞しました。大会優秀発表賞は、40歳未満の会員が筆頭発表者で

ある優秀な発表に対して授与されるものです。

佐藤研究員は「今回の受賞は、これまで防災科研が、災害情報の集約及びNIED-CRSにおける情報発信を積み重ねてきた成果が評価されたものであると考えております。今後も積極的に研究活動を進めていく所存です」と語っています。



佐藤良太特別研究員



受賞スピーチの様子

放送大学講座「コミュニティがつなぐ安全・安心」

防災科研 林理事長が主任講師を務める放送大学講座「コミュニティがつなぐ安全・安心」が4月より放送されています。「人と人が助け合わなければ災害を乗り越えられない」という命題が授業全体を通じて解説され、災害レジリエンス向上をコミュニティの視点から読み解くものとなっています。ぜひご視聴ください。

■番組名 「コミュニティがつなぐ安全・安心（'20）」

■放送局 放送大学（BS232チャンネル）

■放送日 4月3日～7月10日（15回）毎週金曜日

■放送時間 21:00～21:45

※今後4年間の放送を予定しています。詳細な予定は放送大学のウェブサイト（<https://www.ouj.ac.jp/>）でご確認ください。



収録風景（本番組のひととき）



収録風景（大型降雨実験施設）

■主任講師 林春男（防災科学技術研究所 理事長）

■概要 変化を遂げる社会の中で災害は多様化し、コミュニティや安全・安心のあり方も変容しています。しかし安全・安心の確保に不可欠なものは人と人の助け合いであることに変わりはありません。当講座ではそのためのコミュニティのあり方を総合的に検討します。

■放送スケジュール

- 第1回 4月3日 コミュニティがつなぐ安全・安心とは
- 第2回 4月10日 社会の不可逆的变化をたどる
- 第3回 4月17日 社会の変化に応じたコミュニティの変容
- 第4回 4月24日 社会の不可逆的变化に応じた災害の多様化
- 第5回 5月1日 レジリエンスの登場
- 第6回 5月8日 マルチリスクに立ち向かう
- 第7回 5月15日 予測力の向上—理学コミュニティの防災観
- 第8回 5月22日 予防力の向上—工学コミュニティの防災観
- 第9回 5月29日 対応力の向上—応急対応
- 第10回 6月5日 対応力の向上—復旧・復興
- 第11回 6月12日 個人のレジリエンスを高める
- 第12回 6月19日 地域・組織のレジリエンスを高める
- 第13回 6月26日 災害対応のコミュニティのレジリエンスを高める
- 第14回 7月3日 ワークショップによる主体的参画
- 第15回 7月10日 国難に立ち向かう

■放送・教科書執筆担当講師

林 春男（防災科学技術研究所 理事長）

奈良 由美子（放送大学教授）

野口 和彦（横浜国立大学客員教授）

天野 肇（ITS Japan専務理事）

田村 圭子（新潟大学教授）

ご意見・ご感想をお寄せください

防災科研では、皆様のご意見・ご感想を募集しております。右記メールアドレスまたはQRコードを読み取りお送りください。郵送・FAXの場合は「企画部広報・ブランディング推進課 防災科研ニュース係」とご記入ください。なお、いただいたご意見・ご感想につきましては、防災科研ニュースの今後の向上のための貴重な資料として使用させていただきます。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

✉ k-news@bosai.go.jp



〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1
国立研究開発法人 防災科学技術研究所
企画部 広報・ブランディング推進課 防災科研ニュース係

FAX | 029-863-7699

防災科研ニュース

2020 No.209

2020年6月30日発行

●ご意見・ご感想をお寄せください e-mail: k-news@bosai.go.jp

■発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1 企画部広報・ブランディング推進課
防災科研ニュース係 TEL.029-863-7768 FAX.029-863-7699

●防災科研ニュースはウェブサイトでもご覧いただけます（<https://www.bosai.go.jp/>）